

【 幸せの指標 と 日常 】

● 《幸せ》ってどんなこと？

- 幸せ を学術研究の対象としてではなく 日常生活のなかでのこととして あらためて考えようとすると 先ず最初に ハテナ という思いに駆られることと思います。
- それは 幸せ という判断基準の選別が必要となることに 外なりませんネ。
また 判断基準の対象が 一般的なものか または 自己に特化したものか に大別されますし 判断基準の考察方法も 理論上のものか 感性上のものか はたまた 信仰上のものか などの多岐に亘ることになります。
- 幸せである と感じられれば 心の平安に繋がることは周知のことであり その 幸せ が得られるのであれば その考察の過程に関しては 何人にも異存はないものと思います。

● しかしながら 日常生活で この 掘り下げでの考察の意識は 一般的には希薄であろうと思われます。

- そのことから 大抵の方々に この考察の岐路に直面する危機が訪れることがあるであろうことが推察され得ます。
- この 不意に訪れるかもしれない現象 に対する 平素からの対峙 という観点から 幸せ について 多方面から考察された文献 を 逐次 ご提示させていただくことにします。

各位の日常生活での 思考のご参考となりましたら 幸甚の至りです。